

# 「ほのぼの」と確かな介護を

## 介護老人保健施設 ほのぼの苑様

ほのぼの苑は、同じ敷地内に内科・整形外科・眼科・歯科がある、医療と看護・介護・リハビリのケア体制が整った複合型の施設です。利用者様やそのご家族にとって、安心でき親しみやすい施設でありたいと願っています。



事務長 菅原 哲さん



こんにちは!!



介護老人保健施設 ほのぼの苑  
平成8年4月開設 定員：100名 通所：50名

### 排泄ケアの見直し

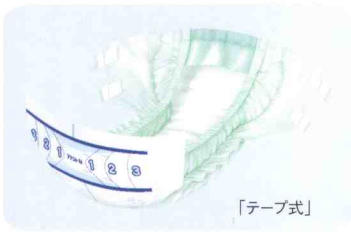
「プロジェクトO」



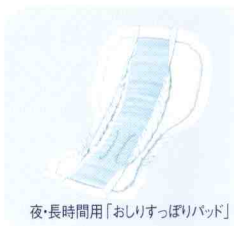
昨年の秋から「プロジェクトO」と名付けたおむつの見直しに取り組んでいます。きっかけは、利用者様の排泄ケアの負担を減らしたい、時間と労力を効率的に使用し、質の高いケアをしたい、利用者様とじっくり接する時間を増やしたい、という皆の思いでした。この苑の介護職員は20代前半の若い成長中の職員がほとんどです。このため、言語聴覚士や理学療法士などがリードできるケアに比べ、介護職員の経験がものをいう排泄ケアが弱い、と

### パッドと組み合わせる使う

アテントのテープ式は「長時間おまかせパッド」や「おしりすっぽりパッド」と組み合わせると、その効果が最大限に発揮されるようですね。あてやすいだけでなく、ギャザーをきちんと立てることで、便もれもしっかり防いでくれます。また「おしりすっぽりパッド」は他製品より大きく安心感があります。利用者様がご自宅に帰った時、おむつ交換に慣れていないご家族の方



が使用されて、少々ズレたとしてもモレの心配がないため、安心してお勧めしています。



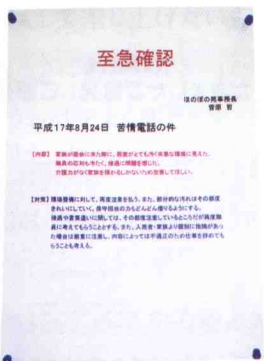
### 基本が一番

「プロジェクトO」を始める前は「日平均して5回あったおむつ交換が、今では平均3回になりました。正直言って最初は、本当に3回で大丈夫なのだろうか、と不安になることもありました。けれど回数が少なくなった分、時間をかけることができ、交換の際に肌の状態を確認し、清拭をきれいにしない、きちんとおむつをあてることで、逆にモレもかぶれもおこらなくなりしました。色々なあて方や使い方も工夫して試してみましたが、おむつの性質を

### 高齢者ケアの専門家を目指して

感覚だけでは無い介護を

医療施設との連携が強い、ということもあり、苑では数字やデータが重視されています。介護は経験からくる感覚で行なってしまうところがありません。でも、数字だけでは人間が人間をお世話するわけですから、感覚だけではどうしてもおぼれてしまう部分があります。そこで感覚だけではなくエビデンス、つまり証拠を、ということによって、数字やデータを使っています。「プロジェクトO」でどの製品を使用するか決めるときもデータが鍵になりました。



▲廊下の壁に貼られた確認書  
苦情等があった場合は、対策と共に貼り出します。

食事の場合もそうです。利用者様の健康状態を把握する一つの方法として、残食量のチェックは欠かせません。通常は目で見てチェックしていますが、その正確さを裏付けを取るために一定の期間、実際に重さを量り、目で見るなどして感覚で量った重さと実際の重さが本当に一致しているか、の確認を行いました。

### 一人ひとりが専門家を目指して

若い職員が多いので、外部で行なわれる勉強会や研修会にも積極的に参加しています。それぞれが感染症や口腔ケア、排泄ケアなど、1年毎に違うものに取り組み、4、5年後には全ての分野で専門的な力を身に付けることが目標です。同じ敷地内の医療施設の職員との情報交換も盛んです。おかげで、歯科からは口腔ケア、整形外科からはリハビリなど、日常業務の中で高齢者



▲利用者様と一緒に作業している農園でとれたジャポカぼちゃ。とれた野菜は皆の食卓にのぼります。

ケアに必要な様々な知識や技術を学ぶことができています。

これからも、多くのことを勉強し、新しいことにどんどん挑戦して、高齢者ケアの専門家として恥ずかしくないよう、より質の高いケアを目指していきたいです。



▲ベッド上の壁の掲示板  
ご家族との連絡役にもなっています。  
◀取材にご協力いただいたスタッフの皆さん



「プロジェクトO」リーダー 泉 覚さん

### 正しい特徴・性質を理解する

これまでのやり方を見直したところ、おむつそれぞれの特徴と性質を正しく理解して使っていなかったことが、一番の原因だという結論になりました。使っている種類も限られていました。そこで、まず何社かのおむつを三ヶ月間ずつ順番に試用しました。この時、最初に職員たち自身で吸収量を実際に測り、はき心地も確かめています。それから利用者様に使っていたが、使用期間中は肌やおむつの状態を、細かくチェックし、全て記録しました。例えばモレた場合は寝具までのモレか、テープ式やパンツ式までのモレなのか、あて方が悪かったためか、尿量が多かったためか、など。これを元に話し合った結果、テープ式では一番だということになったのが、アテントです。



▲スポーツ・ジムのようなりハビリルーム。

腰筋・背筋を鍛えます。  
こんな動作に役立ちます。  
\*起きあがる  
\*背筋を伸ばす  
(長く歩くとき腰が曲がって来る方など)  
腰筋予防にも効果的です!

それぞれの器具には  
番号と効果が添えられています。